

## 令和7年度 中・高等学校「体育」実技研修（剣道） 実施要項

- 1 目的 中・高等学校、支援学校での授業における教員の指導力向上をめざして、理論と指導法、事故防止、武道の伝統的な考え方について学ぶとともに、受講者の技能に応じた実技を通して技能の習得を図る。
- 2 対象 中学校（義務教育学校の後期課程を含む）、高等学校、支援学校（中学部・高等部）の教員  
募集人数 30名

## 3 日時等

| 回           | 日時  | 主題等   | 講師等     |
|-------------|---|---|---------|
| 1<br>・<br>2 | 8月21日（木）<br><b>9:00~12:00</b><br><b>13:30~16:30</b> | <b>指導力を高めるための理論と実技</b><br>—授業等における事故防止及び安全に留意した指導法—<br>—剣道の特性や技能に応じた指導のポイント等— | 公立学校教員等 |
| 3<br>・<br>4 | 8月22日（金）<br><b>9:00~12:00</b><br><b>13:30~16:30</b> | —基本動作、地稽古、しかけ技、掛かり稽古、応じ技、木刀による基本技、日本剣道形—<br>—試合及び審判法—<br><br>[実習]             |         |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）（大阪市浪速区難波中3丁目4番36号）

Osaka Metro 御堂筋線「なんば」駅下車、5番出口から南西へ約350m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
  - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
  - (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

## 1 目的

中・高等学校、支援学校での授業における教員の指導力向上をめざして、理論と指導法、事故防止、武道の伝統的な考え方について学ぶとともに、受講者の技能に応じた実技を通して技能の習得を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職<br>スタンダード | 共通の指標 |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
|                    | I     |   |   | II |   |   | III |   |   | IV |    |    | V  |    |    |
|                    | 1     | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7   | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第3期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第2期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    | ○  |    |    |    |    |
| 第1期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    | ○  |    |    |    |    |
| 第0期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |

## 3 研修の主題とねらい等

| 回                | 主題   | ねらい   | 内容   | 準備物・事前課題  |
|------------------|--|---|--|---|
| 1<br>2<br>3<br>4 | <b>指導力を高めるための理論と実技</b><br>ー授業等における事故防止及び安全に留意した指導法ー<br>ー剣道の特性や技能に応じた指導のポイント等ー<br>ー基本動作、地稽古、しかけ技、掛かり稽古、応じ技、木刀による基本技、日本剣道形ー<br>ー試合及び審判法ー | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に十分留意した指導のポイントについて理解を深める。</li> <li>指導力を高めるための理論を理解し、それに応じた技能を身に付ける。</li> <li>伝統文化としての側面の指導について理解を深める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>事件事例やけがの発生例も踏まえ、授業等において安全に十分留意する指導や技能に応じた指導のポイントを学ぶ。</li> <li>指導力を高めるための剣道の特性や技能に応じた指導のポイント等に関する理論を学ぶ。</li> <li>剣道における基本動作、地稽古、しかけ技、掛かり稽古、応じ技、日本剣道形や試合の実技を行うとともに、審判法について学ぶ。</li> <li>礼法などの伝統的な行動の仕方や、相手を尊重し、互いに助け合い教え合うことの必要性などについて学ぶ。</li> </ul> | <b>準備物</b><br>剣道具、竹刀、剣道着・袴又は運動のできる服装、タオル、飲料水<br>※剣道具（面、胴、小手、垂）、竹刀は、事前の申し出により貸出が可能です。<br><br><b>事前課題</b><br>事前アンケートへの回答（詳細は後日 Plant を確認すること） |